

メーカー: スズキ

車種名: ラパン

管理No: E603800B

年式: H20 / 11 ~ H25 / 03

車体型式: HE22S

更新日: H27 / 01

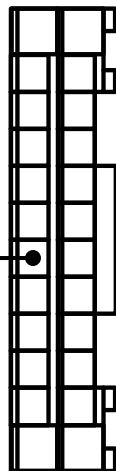
**プッシュスタートアダプター「PS91」の取付手順は、次ページ以降をご覧ください。**

この情報は都度変更されますので、お取り付けの前に必ず最新情報をご確認ください。

『 <http://www.mskw.co.jp/engsta/> 』

L端子配線(灰色線)

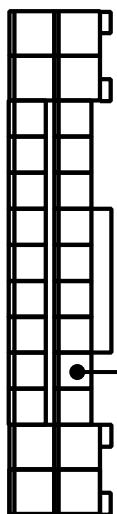
灰色24Pカブラ



ドアスイッチ配線(茶色線)

必ず配線してください。

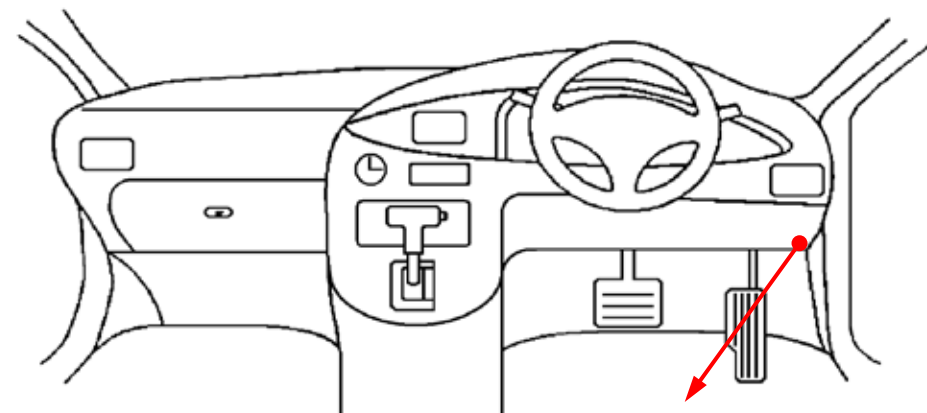
灰色26Pカブラ



黒/黄

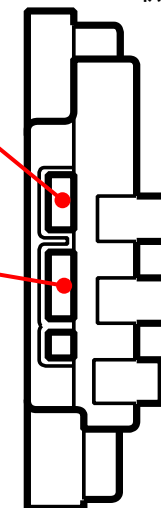
(運転席のみ)

若葉

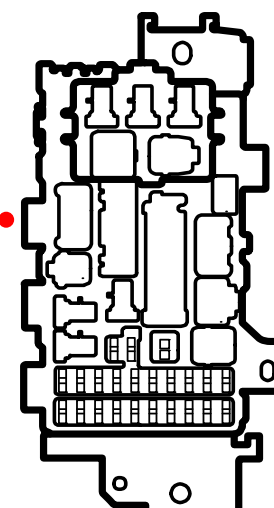


カブラは、両方共にJ/Bの裏側についているBCMの側面にあります。作業をする際には、J/Bを固定しているナットを外す必要があります。

BCM & J / B側面



BCM & J / B



注: カブラの配線は、ハーネス側から見た図です。

グレード、オプション装着状況等により、車体側配線色やカブラの位置等が異なる場合があります。

その場合は、本体添付の取付説明書に従って、接続先を探してお取り付けください。

メーカー: スズキ

車種名: ラパン

管理No: E603800B

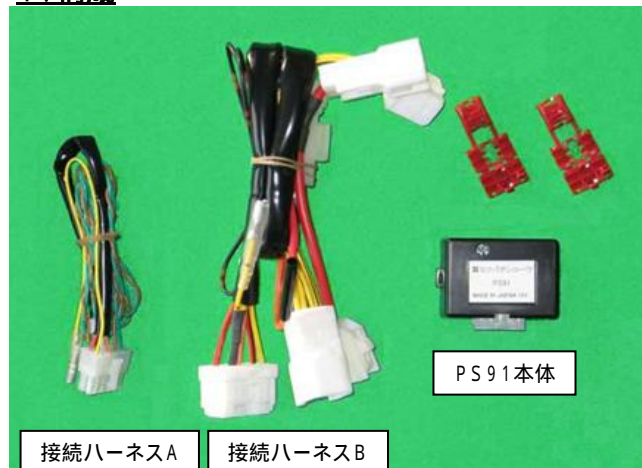
年式: H20 / 11 ~ H25 / 03

車体型式: HE22S

更新日: H27 / 01

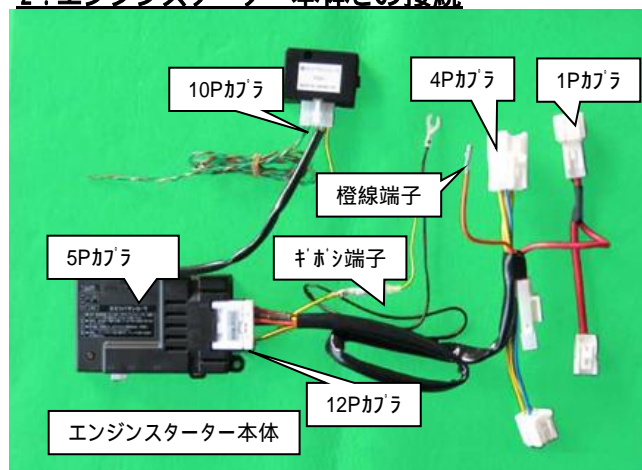
以降は、プッシュスタートアダプター「PS91」の取付手順です。

## 1. 構成



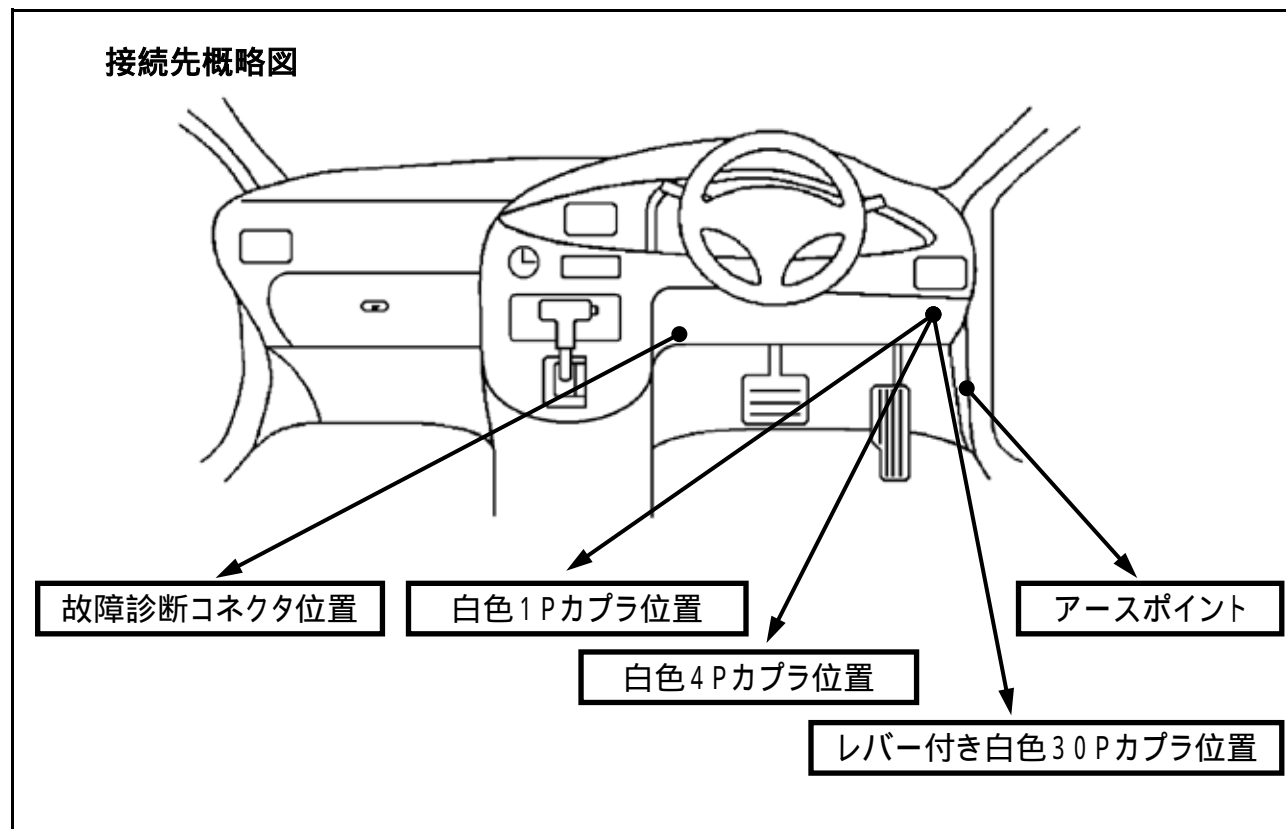
上記セットの他に結束バンド(大1、小2)が同梱されています。

## 2. エンジンスタート本体との接続



5Pコプラ差込口には黒色テープが貼ってありますので、はがしてから接続してください。

## 接続先概略図



メーカー: スズキ

車種名: ラパン

管理No: E603800B

年式: H20 / 11 ~ H25 / 03

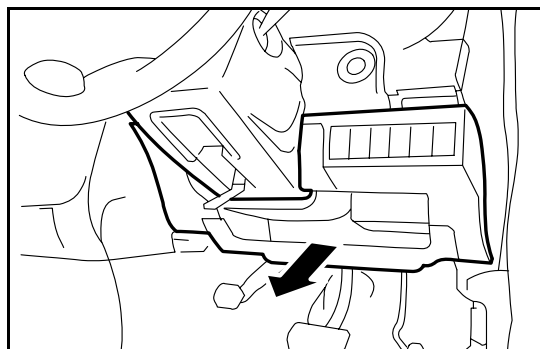
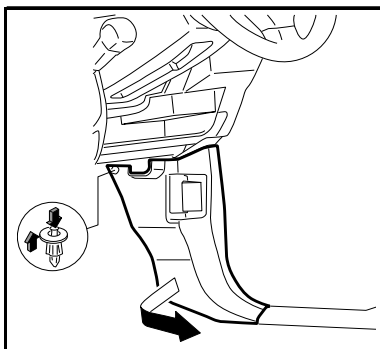
車体型式: HE22S

更新日: H27 / 01

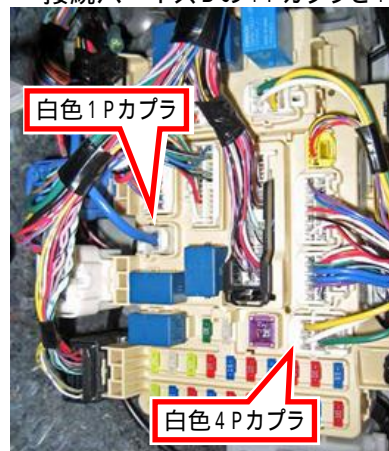
### 3. 車両への接続 (接続先は、2 / 6 ページの接続概略図をご参照ください)

サイドトリムを外します。

カバーを外します。



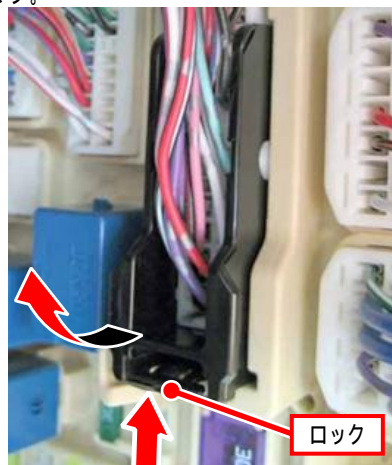
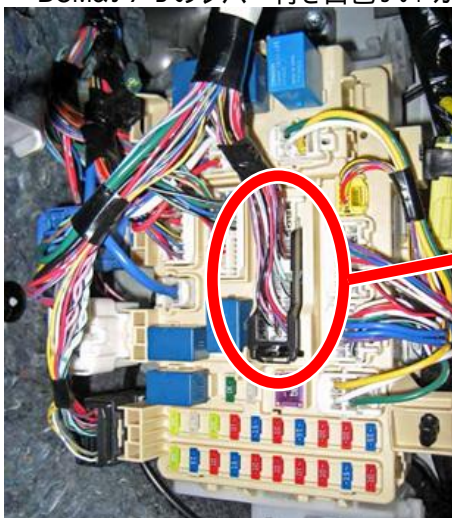
運転席足元右側にあるBCM&J / Bの白色1Pカプラと、白色4Pカプラに接続ハーネスBの1Pカプラと4Pカプラを割り込み接続します。



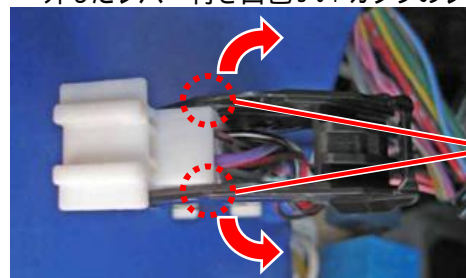
注意: 白色1Pカプラを外すとオーディオの時計やメモリーがリセットされる場合があります。必要なメモリー内容は、あらかじめメモを取り作業してください。

BCM&J / Bのレバー付き白色30Pカプラを外します。

外したレバー付き白色30Pカプラのレバーを外します。



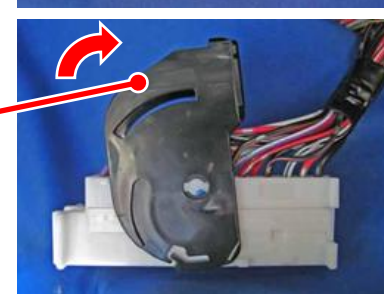
ロックを押しながらレバーを引き上げカプラを外します。



レバーの両側を広げ、カプラのツメから外し、レバーを起こします。



レバーを起こした状態



メーカー: スズキ

車種名: ラパン

管理No: E603800B

年式: H20 / 11 ~ H25 / 03

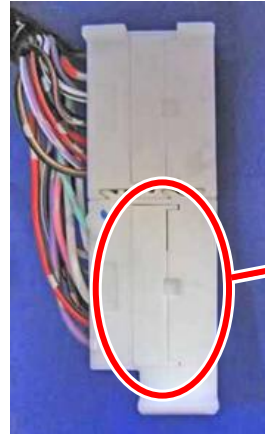
車体型式: HE22S

更新日: H27 / 01

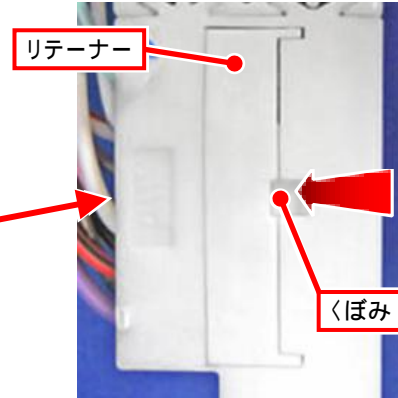
軸の形状とレバー穴の形状を合わせ、レバーを広げてレバーを外します。



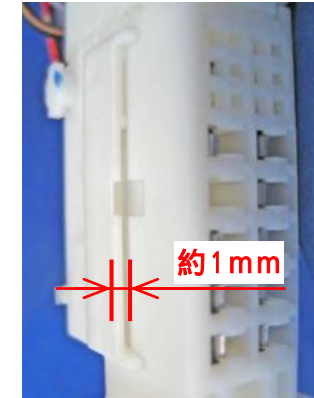
下段側(車両取付状態)のリテーナーを浮かせます。



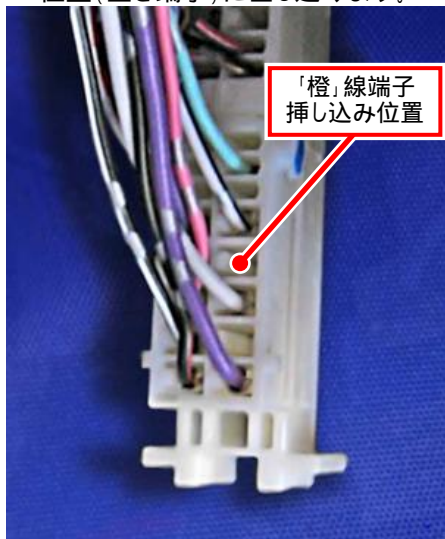
くぼみ部分に精密ドライバー(-)等を入れ、リテーナーを持ち上げ約1mm浮かせます。



リテーナーを約1mm浮かせた状態  
リテーナーはコネクタから外れません。

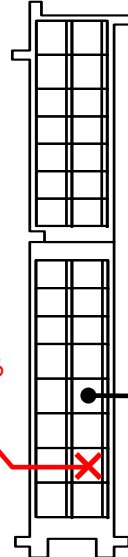


接続ハーネスBの橙線の先端に付いている保護チューブを外し、橙線端子を下写真の位置(空き端子)に差し込みます。



橙線端子の挿し込み先  
(レバー付き白色30Pカブラ)

誤ってここに差し込まないでください。  
車の装備によっては電線が接続されている場合があります。



橙線端子の差し込み位置  
空き端子

- ・端子の向きを合わせて差し込んでください。向きが合っていないと差し込めません。
- ・端子がロックするまで差し込み、軽く引っ張り端子が抜けないことを確認してください。

リテーナーを押し込み元に戻します。



端子が奥まで差し込まれていない場合は、リテーナーを押し込めません。端子の差し込みを確認してください。

レバーを外した手順と逆の手順で取り付けます。



レバーを取り付けた状態

レバー付き30PカブラをBCM&J/Bへ取り付けます。

メーカー: スズキ

車種名: ラパン

管理No: E603800B

年式: H20 / 11 ~ H25 / 03

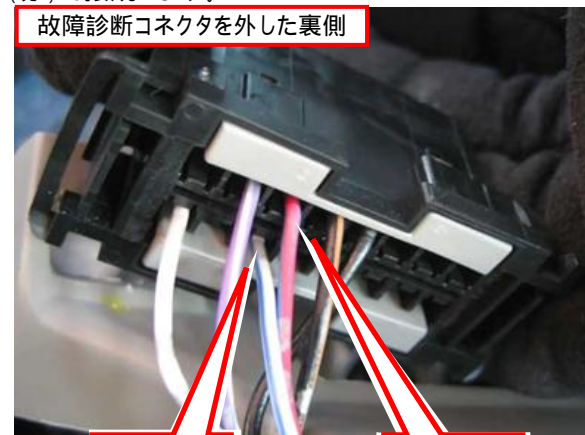
車体型式: HE22S

更新日: H27 / 01

接続ハーネスBのアース線をアースポイントへ接続します。



接続ハーネスAの緑線と茶線を付属のエレクトロタップ(赤)で接続します。



白/青  
茶線接続先

赤/青  
緑線接続先

緑線と茶線のより線は、必要以上にほどかないでください。

接続ハーネスAと接続ハーネスBの黄線ギボシ端子を接続します。  
(2 / 6 ページ「2. エンジンスターター本体との接続」の図を参照)

接続ハーネスAの5Pカプラをエンジンスターター本体上面の黒シールをはがして接続します。  
(2 / 6 ページ「2. エンジンスターター本体との接続」の図を参照)

接続ハーネスAの半透明10PカプラをPS91本体に接続します。  
(2 / 6 ページ「2. エンジンスターター本体との接続」の図を参照)

エンジンスターターの『取付・取扱説明書』に従い、ドアスイッチ配線をします。

接続ハーネスBの白色12Pカプラをエンジンスターター本体に接続します。  
(2 / 6 ページ「2. エンジンスターター本体との接続」の図を参照)

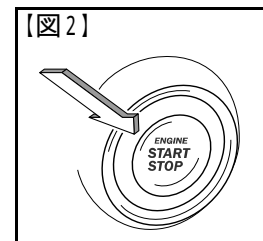
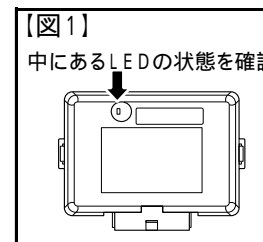
#### 4. プッシュスタートアダプターの登録

エンジンスターター本体に車種別接続ハーネスを接続すると、エンジンスターター本体から断続音が鳴ることがありますが、オートマチック車の登録をおこなわず、そのままプッシュスタートアダプターの登録作業をおこなってください。

「3. 車両への接続」に従い接続をおこなうと、プッシュスタートアダプター本体のLEDが約3秒間点灯し、その後遅い点滅に変化します。(【図1】参照)

LEDが遅い赤点滅に変化したことを確認し、フットブレーキを踏まずにプッシュボタンを2回押し、IGをONにします。(【図2】参照)

LEDが速い赤点滅に変化し、その後約3秒間点灯し消灯します。(【図1】参照)  
プッシュボタンを押しOFFにします。(【図2】参照)



メーカー: スズキ

車種名: ラパン

管理No: E603800B

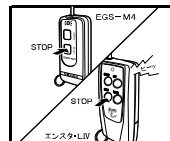
年式: H20 / 11 ~ H25 / 03

車体型式: HE22S

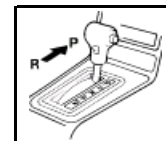
更新日: H27 / 01

## 5. オートマチック車の登録

エンスタ・L、EGS-M4の場合  
リモコンのSTOPボタンを押します。  
(この時本体から「ブーブーブーブー...」  
と断続音がします)



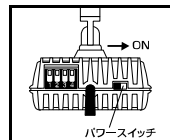
シフトレバーをRレンジからPレンジへ  
戻します。  
(本体からの断続音が「ブブブブブ...」  
へ変化します)



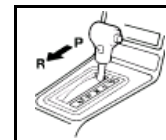
フットブレーキを踏みプッシュボタン  
を押します。(エンジン始動)  
(本体からの断続音が「ブブブブブ...」  
と鳴り、音が消えます)



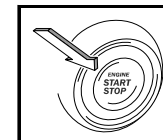
エンスタ・Z、EGS-W5/W6の場合  
アンテナユニットのパワースイッチを  
ONにします。  
(この時本体から「ブーブーブーブー...」  
と断続音がします)



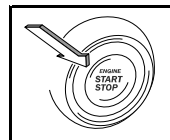
再度シフトレバーをPレンジから  
Rレンジへ動かします。  
(本体からの断続音が  
「ブブブブブ...」へ変化します)



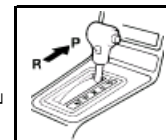
プッシュボタンを押し、エンジンを  
停止します。



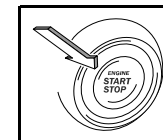
フットブレーキを踏まずにプッシュボタン  
を2回押します。(IG ON)  
(本体からの断続音が「ブブブブブ...」  
へ変化します)



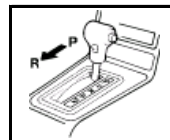
シフトレバーをRレンジからPレンジへ  
戻します。  
(本体からの断続音が「ブーブーブーブー...」  
へ変化します)



プッシュボタンを押し、エンジンを  
停止します。



フットブレーキを踏みシフトレバーを  
PレンジからRレンジへ動かします。  
(本体からの断続音が  
「ブブブブブ...」へ変化します)



以上でオートマチック車の登録は終了です。

## 6. 使用方法

### リモコン始動

エンジンスターターの説明書に準じてリモコン操作を行ない、エンジンを始動します。アドバンスキーを車両の通信圏外に置いた状態でリモコン操作をしてください。  
エンジンスターターでエンジン始動中やターボタイマー作動中は、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに「スタートシステム要点検」と表示しますが、お車や本品の故障ではありません。エンジンスターターのリモコン操作等でエンジンを停止し、通常のエンジン始動(エンジンスイッチ操作でエンジン始動)することで表示は消えます。  
エンジンスターター始動中は、オーディオ・ナビゲーション等、一部の電装品は動作しません。

### ドア開検出

運転席ドアを開けたときにエンジンが止まることを確認してください。ドアをロック(施錠)せずにリモコンでエンジンを始動して確認ください。

注意: エンジンスターター始動中やターボタイマー作動中は、アドバンスキーまたはキーレスによるドアのロック(施錠)・アンロック(開錠)は出来ません。  
リモコン操作にてエンジンを停止してから、ドアのロック(施錠)・アンロック(開錠)を行なってください。  
なお、車両のセキュリティシステム作動中にエンジンスターターでエンジンを始動し、メカニカルキーにてドアのアンロック(開錠)を行ない、ドアを開けると警報が鳴ります。  
セキュリティアラームを「警報なしモード」に設定してある場合は、エンジンスターターでエンジンを始動し、メカニカルキーにてドアのアンロック(開錠)を行ない、ドアを開けても警報は鳴りませんが、必ずドア配線を行ないドアを開けるとエンジンが停止するようにしてください。